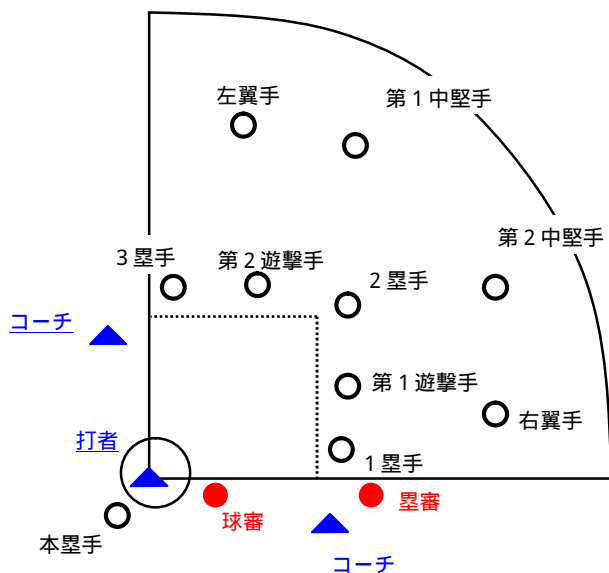


# ティーボール

## 1. コート



- ・ 塁間は 14～18m 程度とります。
- ・ 外野フェンスまでは、40～50m 程度とります。
- ・ バッターズサークルは、本塁ベースの角を中心に半径 3m の円を描きます。打者は、このサークル内で打撃を行います。
- ・ バッティングティーは、本塁ベースの後方 50～100cm 以内に置きます。ティーの高度は自由に変えられます。

## 2. 用具

- ティーボール (ポリウレタン製)
- ティーバット (ポリウレタン製、芯は木製)
- バッティングティー (合成ゴム製)
- ベース



ティーボール・  
ティーバット



バッティングティー

## 3. 人数

競技者は 10 名～15 名とします。(両チームの選手数は同数とします。)

## 4. 勝敗の決め方

2 チームが攻撃と守備に分かれ、攻撃側の全打者が打撃を完了した時点で攻守を交代し、規定の回数 (3～5 回) を終えたとき得点の多いチームが勝者となります。残塁の走者は次の回に受け継ぎます。

2 チームが攻撃と守備に分かれ、第 3 アウトが成立することによって攻守を交代します。規定の回数 (5～7 回) を終えたとき得点の多いチームが勝者となります。

## 5. ゲームの進め方

守備者は 10 名です (上図参照)。他の選手はエキストラヒッター (打つだけの選手) となります。

バッターは、バッティングティーの上のボールをフェアグラウンドめがけ打ちます。ボールを打ったら、バッターはバットを置き、一塁に走ります。

塁に出た走者は、打者がゴロを打った場合は次の塁に進まなければなりません。フライやライナーで守備者に捕球されそうな場合は、ボールが守備者に触れるまでは塁上にとどまります。

走者が本塁に帰ってくれば攻撃側に 1 点が入ります。

## 6. ルール

### 打撃規定

- ・打者は審判が「プレイ」と宣告した後、バッティングティーに載ったボールを打ちます。
- ・打撃時の軸足の移動は1歩までとします。2歩以上動かしたときは、ワンストライクが加えられます。ツーストライク後からこれを行ったときは、打者は三振となります
- ・打者がボールを打たないで、ティーを打ったときは、空振りでワンストライクが加えられます。ツーストライクからこれを行ったときは、打者は三振となります。
- ・ツーストライク後からのファウルは、打者はアウトとなります。
- ・バンドやプッシュバンドは認められません。ツーストライクからこれを行ったときは、打者はアウトとなります。

### 走塁規定

- ・走者は打者が打った後、離塁することができます。走者の離塁が早いときは、走者は離塁アウトになります。
- ・盗塁は認められません。
- ・スライディングは禁止です（行うと走者はアウト）。走者の1塁、2塁、3塁での駆け抜けは認められます。（走者は塁ベースを駆け抜け後、進塁の意志がない場合には守備者にタッチされてもアウトになりません。）

### 本塁手規定

本塁手は打者が打撃を完了するまでは、バッターズサークルの外にいななければなりません。

### 審判員

- ・審判員は、2人制で行います。2人は球審と塁審（1塁）に分かれます。
- ・球審は、打者の正面横に立ちます。
- ・球審は、3塁と本塁周辺のプレーをジャジします。
- ・塁審は、1塁手の後方、1塁のファウルライン上に立ちます。
- ・塁審は、1塁手と2塁手周辺のプレーをジャジします。
- ・球審と塁審は、打者走者の進塁が一段落し、ボールが内野手か本塁手にもどったら、「タイム」をかけ、次のプレーに移れるように指示します。

### その他

- ・フェアボールとファウルボールは、野球やソフトボールと同じですが、バッターズサークル内及びライン上で野手がボールに触れたり、ボールが止まったりしたときはファウルボールとする。
- ・登録された選手は、1試合につき最低1イニング以上プレーするか、1度は打席に立たなければなりません。
- ・その他基本的な部分は、野球やソフトボールのルールに準じます。